



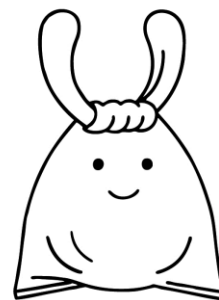
2023/06/07 発行

第57回 日本包装管理士会定時総会 議案書

2023年6月23日(金) 15時30分～17時
集会、Web、個別審議・郵便投票による議決権行使の併用
Web配信会場：「アットビジネスセンター池袋駅前 別館」

1. 議案

- 第1号議案 2022年度事業活動報告及び収支決算報告承認の件
- 第2号議案 2022年度監査報告の件
- 第3号議案 2023年度事業活動計画(案)及び収支予算(案)審議の件
- 第4号議案 定款の一部改定審議の件



つむ君

日本包装管理士会

ご挨拶

皆さんこんにちは。新型コロナウイルスの感染予防もワクチンや治療薬が普及してインフルエンザと同じレベルの対応となり、世の中の雰囲気はコロナ禍前に戻りつつありますが、変化した社会現象はすべて元通りに戻らず、新しい時代の環境として息づくことと思われれます。

例えば、コロナ禍前は毎日会社に通勤していたことが、テレワークの環境が整備されると会社に行かなくて済む作業は自宅やワークスペースからWEBでできるようになりました。営業活動も事務所に出勤してから訪問先に行き、終わると事務所に戻らないと勤務時間の査定ができないとしていたことが、今では携帯端末の活用とルールの見直しで直行直帰ができようになり、事務所に往復していたことが無駄に見えるようになったと思います。様々なところでIT技術の活用が進み、コロナ禍前後で生活様式に変化が見られていることにお気づきの人も多いと思います。すでに昔話になりましたが、レジ袋の廃止は困るとしていましたがエコバックの普及が定着して、汚れるような物とか衛生的にしたい場合だけ、環境配慮されたポリ袋を購入して使うようになり、それが当たり前になったと思います。

IPPの活動状況は、見学会やセミナーは以前のような開催頻度には戻っていませんが、ZOOMの利用とリアルとの併用での開催が広まっています。支部単位で行っていた新会員歓迎セミナーを、昨年もZOOMを使用して東京から全国一斉に配信して行いました。WEBでの開催は参加する人の場所を選ばないことから全国均質の会員サービスの提供をできるというメリットがありますので今後も活用していきたいと思います。

また、就労人口の変動に呼応するように会員数が減少し続け、企業の経費削減もあって増える見込みがありません。IPP活動の在り方や年会費を現状のまま続けるには予算配分の仕方の見直しをするなどの改善を、本年度ワーキング委員会を設置して検討していきたいと考えます。

今年の総会も、全国の会員の参加の利便性を考慮して、事前に登録した会員は視聴して質問できるWEB配信と会場で参加したい会員向けにはリアル参加(集会形式)とのハイブリットで実施します。会員の意思の確認は、返信ハガキ、メール等の通信手段を使って行うことは従前どおりと致しました。

IPPの発展には皆様のご理解とお知恵が必要ですので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

令和5年6月23日

日本包装管理士会会長 山田孝志

第1号議案 その1 【2022年度事業活動報告】

1. 会員動静2023年4月30日現在

(1) 正会員

支 部 名	2023. 4. 30 会員数 *1)	57期仮会員 *2)	会員数増減
北 海 道	27	0	- 1
東 北	52	1	+ 1
関 東	236	8	- 5
中 部	130	2	-10
関 西	87	2	-13
西 日 本	30	0	± 0
合 計	562	13	-28

*1)今年度会費納入済み会員数 *2)期末登録済み仮会員数

2. 総 会

(1)実施日時：2022年6月23日(木) 15時 開会

(2)方 法：集会方式を中止し個別審議・郵便投票、Web併用による開催

3. 理 事 会

年間6回の定例会開催を予定し、臨時理事会2回の追加開催があり、Web方式で8回開催した。

回	実施年月日	場 所	主な内容
1	2022. 5. 21(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 第56回総会議案書(案)内容の検討 2. 総会業務分担の件 3. ippニュース133号について
2	2022. 7. 23(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 総会結果の確認と理事担当業務の確認 2. 東京パック2022出展関連業務進捗状況報告 3. 各種委員会の設置検討
3	2022. 9. 10(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 57期新包装管理士歓迎セミナー 2. 東京パック2022出展関連業務進捗状況報告 3. 2022年・包装界10大ニュース公募選定の件 4. 新しいWeb展開に関する経過報告
4	2022. 10. 6(木) 20:00~21:00	Web会議(臨時)	1. 57期歓迎セミナー／須藤講師リハーサル
5	2022. 11. 26(土) 10:00~12:00	abc池袋別館4会議室 Web併用会議	1. 10大ニュース最終選考／選考委員会併催 2. その他(広報委員会活動、57期歓迎セミナー)
6	2023. 1. 21(土) 10:00~12:00	Web会議(臨時)	1. 新しいネットワーク展開について IPPのWEB展開提案の実施計画策定
7	2023. 2. 18(土) 19:30~21:00	Web会議	1. 第1回集中討議会／2022年度振り返り 2. 第66回(2023年度)定時総会について
8	2023. 4. 8(土) 10:00~12:00	Web会議	1. 第2回集中討議会／2023年度計画 2. 総会に向けて

4. 2022年度事業活動報告

重点課題5項目を踏まえ、活動した(進捗状況は下表)。

1. 会員の自己研鑽をフォローするための活動を行う
2. ホームページの充実を継続して推進する
3. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
4. 新IPPの在り方の検討…支部の再編、予算配分と年会費の見直し
5. 関連機関との連携活動の推進

事業	2022年度事業活動計画	2022年度事業活動／経過報告
総務 (事務局)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員メールアドレス情報の活用。 2. 包装管理士合格者上司へIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 3. 各支部長、事務局長に定期的に支部の会費納入状況を報告し、未納者への働きかけによる会費徴収の改善を図る。 4. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進する。 東京パック開催には、本部に東京パック委員会を置き積極的に協力する。 5. 活動目的達成のための各種委員会(役員以外も参加)の活動を支援する。 「包装界10大ニュース選定委員会」 「東京パック委員会」などを設置する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員メールアドレス宛に活動情報を発信するなどの活用を継続した。 2. JPI包装管理士講座事務局に要請して、上司宛講座結果通知の文書に入会勧誘文書を同封していただいた。 3. 8月末の会費入金状況を報告するとともに、10月に未入金者への督促を行った。 4-1. 東京パック2022の集中企画展示およびセミナーに包装4団体として協力した。 4-2. IPP・HPやJPI包装技術誌に支部行事紹介原稿を掲載し会員への告知に協力した。 5. ZOOMの年間契約を継続し、Web会議やセミナー実施に活用した。 6. 「10大ニュース選定委員会」と「ニュース編集委員会」を設置・活動し成果を得た。
財務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。 2. 出納記録のWチェック管理を継続して行う。 3. 在宅ワーク(環境整備と作業費)の全体体系について、2021年度に続き継続検討する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事会において直近の収支状況を報告し計画通り事業が遂行され、支出が行われたことを確認した。 2. 2022年度においても、財務担当理事による出納記録のWチェックを実施。 さらに8月16日と1月6日に財務担当理事は実務担当者による会計業務の現場確認を行い、出納帳の項目表記と伝票の整備について改善指示を行なった。 3. 在宅ワークの全体体系については、年度予算において理事活動費を事前に設定し、適切に作業費の支出を行なった。
広報	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員の自己研鑽や相互連携の充実を図るため、WEB展開の多様化について検討する。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. ippニュースの定期発行は、年2回行う。 内1回は最低限、紙印刷による郵送手段にて行う。 会員への情報提供を更に充実させるため、勉強会で用いた資料などを、ippニュースの不定期発行またはアーカイブとしてのWEB媒体を検討する。 4. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. WEB展開の多様化については、ippニュース編集委員会で検討し、1月の臨時理事会で[Notion]有料プランの採用を承認した。 実際の運用は、2023年度から開始する。 2. セミナー・見学会のほか周年記念行事や、IPPラウンジ(勉強会)などの事業展開をJPI「包装技術」誌に掲載し、広報活動を充実させることができた。 3. 「ippニュース」を年2回発行した。昨年度と同様に夏号は電子発行、冬号は印刷発行で実施。「ippニュース」の不定期版発行またはアーカイブのWEB媒体活用は、上述1項の[Notion]を活用し、2023年度以降の実施を行う。 4. 「10大ニュース」選定は、昨年度と同様に一般会員参加による「選考委員会」を立ち上げ、公募・選定結果についてIPP・ホームページへの掲載と[ippニュース]内告知を実施した。本年度もJPI包装技術誌や日報(株)包装タイムス紙に掲載してもらえた。

5. 2022年「包装界・10大ニュース」の選定

【日本包装管理士会選定「2022包装界・10大ニュース」】 選定された項目(説明文省略)

1. 32年ぶりの円安、包装資材の値上げ
2. 海洋ゴミ削減がプラスチック資源循環促進法に反映される。
3. DX化の動きが活発化・デジタル印刷用途拡大
4. プラ包装全廃の動き
5. 再生プラスチックの需要増加
6. 製品包装のバイオマス認定化、および包装への表示が進む
7. 長方形型マイクロQRコード(rMQRコード)がISO規格を取得
8. 「めっちゃかわいい」「おしゃれ」な飲料水入りガラス瓶がSNSで注目を集める
9. 再生原料不足から包装資材の価格高騰
10. TOKYO PACK 2022 盛況裡に閉幕

6. その他の活動

1) 支部との交流／支部主催の周年行事報告

- ・関東支部50周年 関東支部では2022年度年間を通して記念セミナーなどが実施された。
- ・関西支部50周年 関西支部では、2023年2月20日にハートンホテル北梅田において
記念式典と奈良大学／魚島純一教授による講演「文化財を包む」が開催された。

2) JPI及び包装関連団体との交流

- ・TOKYO PACK 2022企画展示に四団体協力して参加 /2022年10月12日(水)～14日(金)
①メインテーマ : 『新時代パッケージ ここに集う! - 未来のために機能進化と使命 - 』
②IPP担当テーマ : コロナと共存するためのパッケージ

3) 本部主催セミナーおよび委員会活動

- ・57期包装管理士歓迎セミナー
①日時 : 2022年12月2日(水) 13:30～15:30
②方式 : Web(ZOOM使用)リモートセミナー 送信会場:アットビジネスセンター池袋別館
③受講者数 : 62名 (受講した57期管理士を仮会員として仮登録)
④講演内容
13時30分～ 開催挨拶 山田会長よりお祝いと歓迎のご挨拶
13時40分～ 日本包装管理士会のご紹介 古平副会長
14時00分～ 「コロナと共存するパッケージ」 須藤理事
- ・「2022年 包装界・10大ニュース 選定委員会」活動 (一般会員から委員を公募)
①ニュース公募に対して9名の会員から34件の提案があった。
②理事選考委員と会員からの選考委員応募の3名が選考を行った。
- ・「ipp ニュース 編集委員会」活動を継続した。(一般会員から委員を公募)
①一般会員からの応募委員は3名が広報担当理事と共に編集会議に出席し討議した。
②ニュース企画会議を開催し、会員相互の意見交換会「IPPラウンジ」設置し活動した。
IPPラウンジとはIPP内で提供される特別な待合室。少人数で会員同士が語りあえる場。
- ・「IPPラウンジ」を6回開催した。
①2022年10月20日(木) 勉強会:15時30分～17時、 参加者: 6名
テーマ:「プラスチック資源循環促進法」派生内容の学習
②2022年11月17日(木) 勉強会:15時30分～17時 参加者: 8名
テーマ:企業等に義務化の動きが進む「サステナビリティ情報の開示」
③2022年12月15日(木) 勉強会:15時30分～17時、 参加者: 6名
テーマ:「サステナビリティ情報の開示」第2弾
④2023年1月19日(木) 勉強会:15時30分～17時、 参加者:10名
テーマ:「IPP選定 2022年包装界10大ニュース」の見返し
⑤2023年3月16日(木) 勉強会:15時30分～17時、 テーマ:ダボス会議 参加者: 5名
⑥2023年4月20日(木) 勉強会:15時30分～17時、 テーマ:「センス」 参加者:12名

第1号議案 その2 【2022年度収支決算報告】

2022年度収支報告書
(2022年5月1日～2023年4月30日)

<収入の部>

<支出の部>

単位:円

科目	予算額	決算金額	大分類	小分類	予算額	決算金額
北海道 東北 関東 中部 関西 西日本 小計	224,000	216,000	支部活動費	北海道	156,800	156,800
	408,000	416,000		東北	285,600	285,600
	1,928,000	1,888,000		関東	1,349,600	1,349,600
	1,120,000	1,040,000		中部	784,000	728,000
	800,000	704,000		関西	560,000	560,000
	240,000	240,000		西日本	168,000	168,000
	4,720,000	4,504,000		小計	3,304,000	3,248,000
			広 報	ippニュース発行 注4	300,000	296,009
				包装技術誌	0	0
				理事活動費	10,000	10,000
				小計	310,000	306,009
東京パック準備金繰越	50,000	50,000	国際交流	東京パック	100,000	100,330
				国際交流調査費	10,000	0
				理事活動費	10,000	6,000
				小計	120,000	106,330
情報システム更新準備金繰越	75,000	75,000	情 報	保守その他	50,000	36,114
				HP設計維持費	20,000	1,898
				情報システム更新準備金	100,000	100,000
				理事活動費	10,000	0
				小計	180,000	138,012
			財 務	会費徴収	80,000	46,658
				出納経理	200,000	147,400
				理事活動費	10,000	4,000
				小計	290,000	198,058
			事 務 局	会員管理	150,000	76,770
				総会	150,000	157,511
				交通費補助・会場費	35,000	52,521
				渉外交流	30,000	32,562
				役員渉外	30,000	10,000
その他収入				事務委託手数料	528,220	528,220
入会金	0	0		事務局費	250,000	220,758
預金利息	0	10		庶務費	50,000	27,091
基金から繰入	905,913	905,927		小計	1,223,220	1,105,433
小計	905,913	905,937				
小計	5,750,913	5,534,937	小計		5,427,220	5,101,842
			予備費		792,014	0
			合計		6,219,234	5,101,842
前期繰越金	468,321	468,321	次期繰越金		0	901,416
合計	6,219,234	6,003,258	合計		6,219,234	6,003,258

<<事業基金積立>>

単位:円

基金前期繰越金	5,747,590
基金取り崩し	905,927
利息	97
次期繰越金	4,841,760
情報システム準備金	100,000
東京パック準備金	0
預り金繰越	0

注)預り金 16,000円(前年度会費過入金)は会費収入に含まれます。

貸借対照表
(2023年4月30日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	1,001,416	事業基金積立	4,841,760
		情報システム準備金	100,000
		東京パック準備金	0
		預かり金	-
定期預金	4,841,760	次期繰越金	901,416
合 計	5,843,176	合 計	5,843,176

現金・預金内訳

・みずほ銀行 普通預金	846,996 円
・郵便振替口座	50,000 円
・現金	104,420 円
合計	1,001,416 円

定期預金内訳

・三菱UFJ 銀行 定期預金	1,491,805 円
・みずほ銀行 定期預金	3,349,955 円
合計	4,841,760 円

監査報告書

日本包装管理士会

会長 山田 孝志 殿

2023年5月26日 15時より八丁堀区民館において監事2名で対面による監査を実施いたしました。その後、6月2日に決算書と出納帳の再々提出があり、それらを基に検証し、再々提出された収支決算報告書と貸借対照表を監査し妥当であることを確認しました。

また、本部として57期包装管理士歓迎セミナー(WEB)の開催と2022年包装界・10大ニュースの選定をしたこと、IPP編集委員会が会員相互の意見交換として「IPPラウンジ」を6回開催したとなど業務が概ね適切に行われたことを確認しました。

2023年6月7日

監事 福野 壽史

監事 荒牧 哲

第3号議案 その1 2023年度事業活動計画(案)

<重点課題>

1. 会員の自己研鑽をフォローするための活動を行う
2. 包装界の動向を把握し、会員の指針となるように情報を発信する
3. 定款第41条の一部改定…支部は本部交付金の一部、または全部を本部に返金できるようにする
4. IPPの再構築…支部制、予算配分の見直し、全国単位の会員向け事業の推進について、ワーキング委員会を設置して再構築案を検討する。
5. 関連機関との連携活動の推進

<2023年度事業活動計画(案)>

事業	事業活動の内容
総務 (事務局)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員メールアドレス情報の活用継続。 2. 包装管理士合格者上司へIPP活動PRを継続し、新合格者の入会促進を図る。 3. ここ数年コロナ禍で対面での活動が減り、予算の消化ができず、支部内の留保金が大きくなったため、返金できるように該当する定款の第41条の一部改定を本総会に第4号議案として提案し実施する。 4. IPPの再構築について、ワーキング委員会を設置して再構築案を検討する。検討する項目について議案書P.10に補足記載する。 5. (公社)日本包装技術協会(JPI)及びJPI関連包装4団体との交流を推進する。東京パック開催には、本部に東京パック委員会を置き積極的に協力する。「包装界10大ニュース選定委員会」「東京パック委員会」などを設置する。
財務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 支出の使途を工夫するとともに、タイムリーに収支の把握と検討を行う。 2. 出納記録のWチェック管理を継続して行う。
広報	<ol style="list-style-type: none"> 1. IPP内コミュニケーションを効率化させるため、コネクテッドワークスペースの[Notion]を導入する。これにより、会員同士の相互連携を促進し、議事録やビデオ記録、セミナー・勉強会資料などのさまざまなコンテンツをアーカイブ化して、情報共有の充実とDX推進に取り組む。 2. 見学会・研究会等の案内をJPI包装技術誌に継続掲載し、内容の充実を図る。 3. ippニュース編集委員会はIPPラウンジを継続的に開催する。目標として年間4回以上のラウンジ開催を目指す。 4. ippニュースの定期発行は、年2回行う。内1回は最低限、紙印刷による郵送手段にて行う。 5. 「10大ニュース」の公募・選定結果をタイムリーにホームページで告知し、IPPラウンジにおいてニュースの振り返りを行う。

<理事会 開催予定>

1. 理事会:原則として下記予定表の通り開催する。必要に応じて臨時会議を開催する。
2. 日時及び開催場所は新型コロナウイルスの影響、会場の都合などで変更する場合がある。

回	開催月日	場所	主な内容/別に収支状況確認は毎回実施
1	2023.5.27.(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2022年度収支決算報告・2023年度予算確認 2. 定時総会対応(議案書の確認) 3. 2023年度事業活動計画の確認 4. その他
2	2023.7.22(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種委員会設置について 2. その他
3	2023.9.9(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 58期包装管理士講座修了者対応 2. その他
4	2023.11.25(土) 10:00~12:00	アットビジネスセンター 池袋別館 Web併用	<ol style="list-style-type: none"> 1. 10大ニュース選定について 2. 予算進捗状況のチェック 3. その他
5	2024.2.17(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各事業活動の現況確認 2. その他
6	2024.4.6(土) 10:00~12:00	Web(ZOOM)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定時総会対策・決算予測 2. 新年度事業活動計画の検討 3. 新年度予算案の検討 4. その他

<2023年度事業活動計画(案) 総務事業－4項の補足説明>

4. IPPの再構築について、ワーキング委員会を設置して主に次の3項目の再構築案を検討する。

1) 支部制の見直しについて

支部制は地域特有の活動ができるように設定されていると思いますが、WEBとの併用となると地域、時間を選ばない活動ができます。しかしながらすべて全国単位での活動では地域性が無くなりますので、現在の支部の分け方を広域のエリア単位に見直すことで活発な活動をしやすくする。

2) 予算配分の見直しについて

本部関連の費用合計(*)はここ数年は約220万円で、年会費収入約480万円の約45%を占めるようになりました。昨年度は不足分を基金の取り崩しで対応しましたが、今後、インフレの影響や活動内容のさらなる充実に伴い、本部：支部=3：7の配分比率を見直し、プライオリティを考慮した適切な予算配分に変更する。

(*)本部関連の費用： 広報、国際交流、財務、情報、事務局の費用

3) 全国の会員及び一般向け事業の推進について

新包装管理士歓迎セミナーとしてすでに実施していますが、さらに推進していきたい。具体的には、支部主催の事業でもHP又は包装技術誌の広告で全国展開を主とする。

今後は対面開催の時にWebの併用を検討して、支部会員だけを対象とせず、全国の会員さらにIPPの社会貢献活動を兼ねて一般向けにも開催のアナウンスをして、包装に興味を持つ人は誰でもどこからでも参加できるようにする。

第3号議案 その2 2023年度収支予算(案)

2023年度収支予算(案)

(2023年5月1日～2024年4月30日)

<収入の部>

<支出の部>

単位:円

科目		予算金額	大分類	小分類	予算金額
年会費 注1)	北海道	216,000	支部活動費 注2)	北海道	151,200
	東北	416,000		東北	291,200
	関東	1,888,000		関東	1,321,600
	中部	1,040,000		中部	728,000
	関西	696,000		関西	487,200
	西日本	240,000		西日本	168,000
	小計	4,496,000		小計	3,147,200
			広報	ippニュース発行 注4)	300,000
				包装技術誌	0
				理事活動費	10,000
				小計	310,000
東京パック準備金繰越		0	国際交流	東京パック	50,000
				国際交流調査費	10,000
				理事活動費	10,000
				小計	70,000
			イベント	歓迎セミナー	25,000
				小計	25,000
情報システム更新準備金繰越		100,000	情報	保守その他	50,000
				HP設計維持費	20,000
				情報システム更新	125,000
				理事活動費	10,000
				小計	205,000
			財務	会費徴収	80,000
				出納経理	200,000
				理事活動費	10,000
				小計	290,000
			事務局	会員管理	150,000
				総会	150,000
				交通費補助・会場費	35,000
				渉外交流	30,000
				役員渉外	30,000
その他収入	入会金 注3)	0		事務委託手数料	528,220
	預金利息	0		事務局費	250,000
	基金から繰入	0		庶務費	50,000
	小計	0		小計	1,223,220
小計	4,596,000	小計		5,270,420	
前期繰越金	901,416	予備費		226,996	
合計	5,497,416	合計		5,497,416	

注1. 会費収入予算は年度末(2023年4月30日現在)会費納入済み会員数で立案

注2. 支部活動費は会費の70%。

注3. 新規入会金は現在免除中です。

注4. 支出予算・広報・ippニュース発行は、夏季発行予定号(従来は8月発行)は2022年度と同様にWeb発行、冬季発行予定号(従来は1月末発行)1回を印刷冊子として発行で予算化しています。

第4号議案 定款第41条 一部改定(案)

ここ数年コロナ禍で対面での活動が減り、予算の消化ができず、支部内の留保金が大きくなったため、返金できるように該当する定款の第41条に新たな条文を挿入する。

- 1) 新たな条文を41条(6)項として挿入し、現行(6)項を(7)項に繰り下げる。
改定(案)と現行は以下の通り。

	改定(案)	現行
予 算	<p>第41条</p> <p>(1) 現行通り</p> <p>(2) 現行通り</p> <p>(3) 現行通り</p> <p>(4) 現行通り</p> <p>(5) 現行通り</p> <p>(6) 当該年度に支部交付金額を消費することが困難な事情が発生した支部は、本部からの交付金額の一部、または全部を本部に返金できる。 本部収支予算の返金繰入れ分については、各支部への再配分は行わない。</p> <p>(7) 収支予算を変更する場合は、総会の承認を得なければならない。 ただし、軽微な変更については、理事会の承認を得なければならない。 また、年度内の科目間の流用はできない。</p>	<p>第41条</p> <p>(1) 本会の収支予算(案)は、会計年度ごとに事業費と運営費を明確に区分して立案し、理事会の同意を得て会長がこれを作成し、総会の承認を得なければならない。</p> <p>(2) 前項の同意及び承認を得るまでの間は、前年度の収支予算に準じて収入および支出をすることができる。</p> <p>(3) 前項の収入・支出は、新たに成立した収支予算の収入・支出とみなす。</p> <p>(4) 本会の会費収入の配分比率は、本部:3、支部:7 とする。 また各支部の配分比率は公平性を確保する。</p> <p>(5) 各支部交付金額は、前項の配分比率及び年度末日時点の、当該支部の会費納入済み会員数を基準として算出・確定する。 支部交付金額の年度途中での変更はしない。</p> <p>(6) 収支予算を変更する場合は、総会の承認を得なければならない。 ただし、軽微な変更については、理事会の承認を得なければならない。 また、年度内の科目間の流用はできない。</p>

- 2) 改定案は、第57回定時総会での承認を得て、2023年6月23日より実施する。

【参考】

2022・2023年度 日本包装管理士会 役員

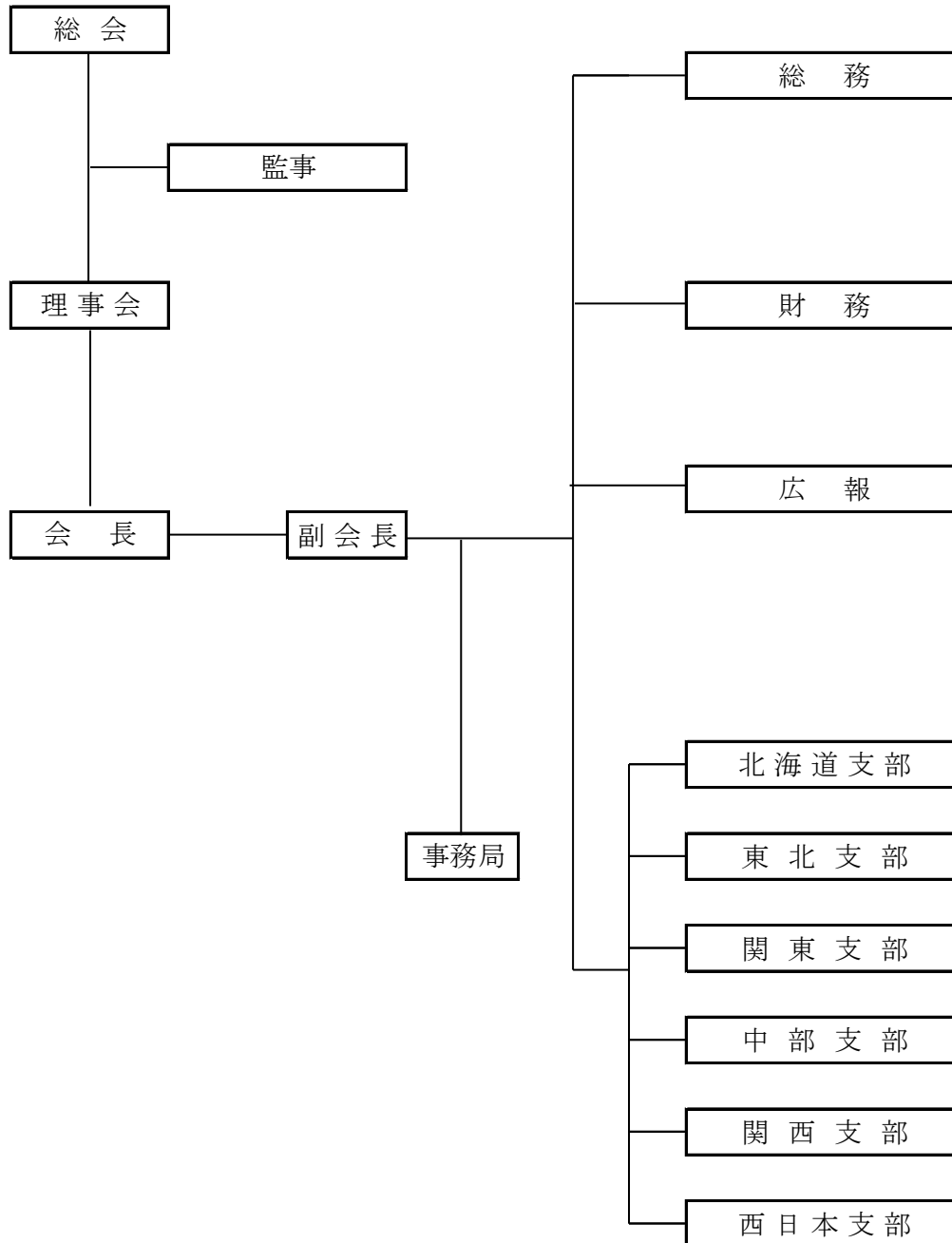
役 職	会員番号	氏 名	支部	勤務先・所属	電 話	FAX
会 長	35065	山田孝志	関東	ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン(株) SCMグループ		
副会長	25079	古平 篤	関東	新宿区 高田馬場シニア活動館		
支部長	47016	會田 慶太	北海道	レンゴー(株) 恵庭工場 営業部		
	23095	鈴木雅彦	東北	(株)東北ウエノ		
	25079	古平 篤	関東	新宿区 高田馬場シニア活動館		
	24173	北原 圭介	中部	(株)サンライト		
	23260	桃川公一	関西			
	30188	藤生廣来	西日本			
理 事	5004	井上伸也	関東	井上包装管理士事務所		
	12006	荒井拓哉	関東			
	23131	道明 誠	関東			
	31054	須藤貴行	関東	(株)インターナショナル三興 営業部		
監 事	16146	福野壽史	関東	グリーン商会		
	23038	荒牧 哲	関東	自営(不動産賃貸業)		

事務局 2022年5月1日現在

事務局員 (会計担当)	-	平野 洋子	—	日本包装管理士会 事務局	03-3543-9250	03-3543-8970
					ipp@pk9.so-net.ne.jp	

[組織表]

2023年度 日本包装管理士会 機構組織図



支 部 報 告

支部報告のページには、各支部から提出された活動報告を記載しています。

支部総会議案書ではありませんが、活動状況をお知らせする資料としてご覧下さい。

掲載順

北海道支部

東北支部

中部支部

西日本支部

関西支部

関東支部

北海道支部

【2022年度事業経過報告】 (2022年5月1日～2023年4月30日)

1. 会議等
 - 1-1 総 会

日時: 2022年 5月31日 (北海道経済センター7階)

 - ①2021年度事業報告・決算報告について
 - ②2021年度会計監査報告について
 - ③2022年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 - 1-2 運営委員会

1回目: 2022年 5月31日 (北海道経済センター7階)

2回目: 2022年12月13日 (北海道経済センター7階)
2. 研究会
 - 2-1 包装懇話会

JPI共催 ⇒ コロナ禍の為中止
 - 2-2 新春研究会

JPI共催 ⇒ コロナ禍の為中止
3. 交流会
 - 3-1 合同親睦会 (JPI北海道支部・IPP北海道支部) 納涼ビール会 ⇒ (7月予定) コロナ禍の為中止
 - 3-2 賀詞交歓会 (JPI共催) ⇒ (1月予定) コロナ禍の為中止

【2021年度決算報告】 (2022年5月1日～2023年4月30日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	290,924		
支部活動費	156,800		
利息	3		
		次期繰越金	447,727
計	447,727	計	447,727

【2023年度事業計画案】 (2023年5月1日～2024年4月30日)

1. 会議等
 - 1-1 総 会

2023年5月23日 (北海道経済センター)

議事

 - ①2022年度事業報告・決算報告について
 - ②2022年度会計監査報告について
 - ③2023年度事業計画(案)・収支予算(案)について
 - ④その他
 - 1-2 運営委員会

1回目 : 2023年 5月23日 (北海道経済センター)

2回目 : 2023年10月
2. 研究会
 - 2-1 包装懇話会(JPI共催)

2023年11月予定 包装管理士合格者との懇親会
 - 2-2 新春研究会(JPI共催)

2024年 1月予定
3. 交流活動
 - 3-1 合同親睦会(JPI共催)

2023年 9月予定 会場未定
 - 3-2 賀詞交歓会(JPI共催)

2024年 1月予定 会場未定

【2023年度収支予算案】 (2023年5月1日～2024年4月30日)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	447,727	包装懇話会費	50,000
支部活動費	151,200	研究会費(新春研究会)	50,000
利息	3	納涼ビール会	130,000
		予備費	368,930
計	598,930	計	598,930

*日本包装管理士会 北海道支部 2023年度役員

北海道支部長
監事

會田 慶太 47期
佐々木 澄 45期

レンゴー株式会社 恵庭工場
レンゴー株式会社 恵庭工場

東 北 支 部

【2022年度事業報告】

- ①37回支部総会: R4年6月14日(火)12時～14時
会場: 仙台 ホテルメトロポリタン3階「藤」
対面で開催。7名参加委任状38通
- ②理事会
R2年1月に発生した新型コロナウイルス感染防止の為、メールや文書交換で意見交換して承認を得た。
- ③見学会 中止とした
- ④包装ウェビナー (JPI共催)
日時: R4年11月7日(月) ZOOM配信で開催
テーマ: 2022年日本パッケージングコンテスト
入賞作品発表会
- ⑤包装講演会 (JPI共催)
日時: R4年2月24日(金)16:30～18:40
場所: メトロポリタン仙台
・講演1: 棒積みパレットとストレッチフィルム
パレット梱包による箱材質の削減と
保管時トラブルの防止について
講師: キューピー(株) 高山崇氏
・講演2: 1試料による包装貨物落下試験機を
用いた簡易衝撃強さ試験方法
講師: 神栄テクノロジー(株) 川口和晃氏
- ⑥57期生管理士合格者包装技術発表会
日時: 11月11日(金) JPIと共催(対面開催)
場所: 江陽グランドホテル(仙台市)
発表: 4名の発表者により4件発表された。
- ⑦2021年東北包装界新年名刺交換会
中止
- ⑧関西支部50周年記念式典に鈴木支部長参加
R5年2月7日 記念式典・講演会・パーティー

【2023年度事業計画(案)】

- ①第38回支部通常総会: R5年6月予定
- ②支部理事会: 今期はWeb主体に活用し、
場合により対面会議を開催。
- ③見学会 (JPI共催)
: コロナウイルス感染が
終息するまで中止とする
- ④Web勉強会&企業PRタイム(新規事業)
会員皆様の知りたい情報提供と会員企業
情報PR会をzoomにて年2回計画する
第一回 R5/9
第二回 R6/2
- ⑥全日本包装技術研究大会 奈良大会
日時: R5年12月7日～8日
場所: 奈良県コンベンションセンター
コーディネーターとして
東北支部長 鈴木雅彦氏参加予定
- ⑤58期支部合格証書授与式
&新包装管理士を囲む会(JPI共催)
日時: R5年11月予定
場所: 仙台市内 江陽グランドホテル予定
- ⑦2024年東北包装界新春講演会
及び新年名刺交換会(JPI共催)
日時: R6年1月予定
場所: 江陽グランドホテル予定

【R4年度 収支報告】		(R4年5月1日～R5年4月30日)	
収入の部		支出の部	
支部活動費	285,600	総会・会議費	65,321
前期繰越金	242,473	運営・活動費	80,870
利息	0	定期預金	100,000
合計	528,073	合計	246,191
		次期繰越金	281,882

【R5年度予算(案)】		(R5年5月1日～R6年4月30日)	
収入の部		支出の部	
支部活動費	291,200	総会・会議	200,000
前期繰越金	281,882	運営費	150,000
		研究費	50,000
		予備費	173,082
合計	573,082	合計	573,082

中 部 支 部

【2022年度事業報告】

第1 諸会議

- 1) 5月 運営委員会 ※メール審議
12月9日(金) 第1回運営委員会
4月21日(金) 第2回運営委員会
- 2) 6月 第53回 定期総会 ※書面審議
- 3) 12月 賀詞交歓会余興打合せ会 ※中止

第2 事業

- 1) 研究会活動
 - (1) 研究例会
 - 7月13日(水) JPI WEBフォーラム(参加者:163名)
 - 8月5日(金) JPI WEBフォーラム(参加者:164名)
 - 11月9日(水) 包装技術講習会(参加者:59名)
 - 11月30日(水) JPI WEBフォーラム(参加者:152名)
 - 12月16日(金) JPI WEBフォーラム(参加者:128名)
 - 2月6日(月) JPI WEBフォーラム(参加者:225名)
 - 3月23日(金) JPI WEBフォーラム(参加者:86名)
 ※上記事業は「Zoomウェビナー」でオンライン開催
12月 7日(水) 2022日本パッケージングコンテスト
入賞作品発表会 (参加者:91名)
※「Zoomウェビナー」+会場聴講で開催
 - (2) 第62回包装技術研究大会中部大会
2月16日(木) (参加者:128名)
※「Zoomウェビナー」+会場聴講で開催
- 2) 研修活動 ※一部Teamsを利用したオンライン講義
5月12～13日(木、金)
2022年度包装設計の基礎講座(参加者:31名)
- 3) 会員交流会 ※開催中止
1月 2023中部包装界新年賀詞交歓会
- 4) その他事業
2月 コロナ禍における中部支部交流会活動中止
にともなう代替還元事業

【2022年度決算報告】

(2022年5月1日～2023年4月30日)

収入	金額	支出	金額
会費	1,040,000	事業費	569,134
雑収入	27	総会費	37,040
前期繰越金	583,740	管理費	111,730
		本支部 精算金	312,000
		事業推進 積立金	300,000
		予備費	0
		次期繰越金	293,863
合計	1,623,767	合計	1,623,767

【2023年度事業計画(案)】

第1 諸会議

- 1) 5月 運営委員会 ※メール審議
3～4月 運営委員会(予定)
- 2) 6月 第54回 定期総会 ※書面審議
- 3) 12月 賀詞交歓会余興打合せ会

第2 事業

- 1) 研究会活動
 - (1) 研究例会
 - (日程未定) JPI WEBフォーラム(包装資材)
 - (日程未定) JPI WEBフォーラム(輸送包装)
 - (日程未定) JPI WEBフォーラム(生活者包装)
 - (日程未定) JPI WEBフォーラム(包装技術)
 ※上記事業は「Zoomウェビナー」で開催予定
(JPI中部支部主催の6～8件について共同主催予定)
11月15日(水) 包装技術講習会
12月 14日(水) 2023日本パッケージングコンテスト
入賞作品発表会
※開催形態については検討中
 - (2) 第63回包装技術研究大会中部大会
2024年 2月21日(水)
※開催形態については検討中
- 2) 研修活動
5月18～19日(木、金)
2023年度包装設計の基礎講座
※一部Teamsを利用したオンライン講義を予定
- 3) 会員交流会
1月24日(木) 2024中部包装界新年賀詞交歓会
- 4) その他事業

【2023年度予算(案)】

(2023年5月1日～2024年4月30日)

収入	金額	支出	金額
会費	1,040,000	事業費	600,000
雑収入	37	総会費	40,000
前期繰越金	293,863	管理費	281,900
		本支部 精算金	312,000
		事業推進 積立金	50,000
		予備費	50,000
		次期繰越金	0
合計	1,333,900	合計	1,333,900

西日本支部

【2022年度事業報告】

1. 会議
 総会 メールとはがきで参加
 役員会 2023年4月8日JPI西日本支部事務所
2. 研究会等の活動 WEB講演(ZOOM)
 JPIの事業に協賛
 7月29日 令和4年度第1回ふくおかプラスチック資源
 循環ネットワーク会議にてWEB講演
 「事業者・団体取り組み」
 10月19日 (株)YEデジタル
 「テーマ」AI外観検査の最前線
 11月10日 三菱商事パッケージング(株)
 「テーマ」コンビニ中食容器包装の環境対応
 11月21日 セイコーエプソン(株)
 「テーマ」個装箱のコンテナ輸送効率
 シミュレーション開発の取り組み
 12月6日 凸版印刷(株)
 「テーマ」デジタルプリントを起点とした
 ビジネス展開について
3. 見学会 中止
4. 交流会 2023年4月8日

【2023年度事業計画】

1. 会議
 総会
 役員会
2. 研究会等
 JPI西日本支部と協賛
3. 講演会
 JPI西日本支部と協賛
4. 見学会
 JPI西日本支部と協賛
5. 交流会
 JPI西日本支部と協賛

2023年4/8役員会

支部長	藤生	総括
副支部長	末松	IPPニュース・企画等
副支部長	森永	JPI事務局長・企画
事務局	八田	事務局
会計	中村	出納 企画等
理事	要請中	
理事	要請中	

【2022年度決算報告】(2022.5.1～2023.4.30)

収 入	金 額	支 出	金 額
支部活動費	168,000	研究会等	60,000
前期繰越金	261,970	総会会議等	20,000
利息	3	運営費	20,000
		次期繰越金	329,973
合 計	429,973	合 計	429,973

次期繰り越しに積立金(普通預金)含む
 積立金の目的は記念事業・企画事業・本部総会等の為

【2023年度予算】(2023.5.1～2024.4.30)

収 入	金 額	支 出	金 額
支部活動費	168,000	研究会等	60,000
前期繰越金	329,973	総会会議等	90,000
利息	1	運営費	25,000
		予備費	322,974
合 計	497,974	合 計	497,974

総会会議費に本部出張費50,000円含む
 予備費にR2/R3/R4積立金含む 単位:円

関西支部

【2022年度 事業報告】 (2022年5月1日～2023年4月30日)

1. 会議

- 1-1. 総会 … 2022年 6月 9日(木)15:50～16:50
於:大阪市立総合生涯学習センター第6研修室
- 1-2. 運営委員会 … 6回/年 開催
開催月日… 6/9、7/28、8/29、10/27、12/12、3/30、

2. 研究会

- 2-1. 第13回 W会(女性だけの包装研究会)と合同研究会
…2022年7月28日(月)17:00～19:00
於:大阪市立総合生涯学習センター第4研修室 参加者17名
講演テーマ①「印刷機械メーカーにおけるSDGs」
講師 富士機械工業(株) 森川氏
講演テーマ②「SDGs概要と関西SDGsプラットフォームの活動について」
講師 (独)国際協力機構 河野氏

3. 見学会・セミナー

- 3-1. 見学会&セミナー … 2022年9月28日(水)13:30～16:30 参加者21名
見学先:六甲バター(株)神戸工場
セミナー:「包材ロットNo.データ化の取り組みについて」 講師 経営企画部 西口尊之氏
- 3-2. 第47回ミニセミナー … 2022年10月27日(木)17:00～18:50 15名
「速度の尖度を考慮した振動試験方法」 講師 山九(株)・中井氏
「未来人から見た日本の風呂文化とガス機器先端技術」 講師 元(株)ハーマン・稲場氏
- 3-3. 第48回ミニセミナー … 2022年12月12日(月)17:00～19:00 16名
「デジタルプリントによるトレット対応パウチの開発」 講師 凸版印刷(株)・堀内氏
「環境の取り組みと段ボール業界のトレット」 講師 レンゴー(株)・高比良氏

4. 支部50周年記念式典

- ・開催月日: 2023年 2月20日(月)16:00～20:20 ・会場:ハートンホテル北梅田 参加者40名
- ・記念式典: (16:00～16:30)… 支部功労者の発表、来賓祝辞
- ・記念講演: (16:30～17:40)… 講演テーマ「文化財を“包む”」
講師 奈良大学文学部 文化財学科 魚島純一氏
- ・パーティー: (18:00～19:50)… 包装管理士会及び関係諸団体様から祝辞

5. JPI関西支部との連携

- 4-1. ・第57期包装管理士講座 合格証授与式 … 集会方式中止

6. 交流会

- 6-1. 技術士包装物流研究会会合 … 6/20、8/25、10/17、12/10、2/22、4/20、
- 6-2. JPI関西支部、新春会員交流会 … 中止

【2022年度 収支決算報告】 (2022年5月1日～2023年4月30日)

単位:円

収 入	金 額	支 出	金 額
支部活動費	560,000	活 動 費	185,383
事業収入	195,000	事業経費	687,927
雑収入	11	事務所経費	128,320
前期繰越金	821,353	次期繰越金	574,734
合 計	1,576,364	合 計	1,576,364

関西支部

【2023年度 事業計画(案)】 (2023年5月1日～2024年4月30日)

1. 会議

- 1-1. 総会 … 2023年 6月2日(金)
(場所:大阪市立総合生涯学習センター)
- 1-2. 運営委員会 … 日程表に従い、計10回開催
- 1-3. 役員会 … 適時開催(支部長、副支部長)

2. 研究会

- 2-1. 第14回 W会(女性だけの包装研究会)と合同研究会 … 2023年10月19日(木)

3. 見学会・セミナー

- 3-1. 第49回ミニセミナー … 2023年 7月13日(木)
- 3-2. 第50回ミニセミナー … 2023年 9月14日(木)
- 3-3. 第51回ミニセミナー … 2024年 2月予定
- 3-4. 第52回ミニセミナー … 2024年 3月予定
- 3-5. 見学会&セミナー … 2023年11月16日(木)

4. JPI関西支部との連携

- 4-1. 第58期包装管理士講座 合格証授与式 2023年10月予定
運営委員出席、祝賀会にてIPP関西支部副賞授与及び入会勧誘

5. 交流会

- 5-1. 技術士包装物流研究会会合 … 6回/年
- 5-2. JPI関西支部、新春会員交流会 … 2024年 1月予定

2022年度 日本包装管理士会 関西支部事業日程表(案)

事業	年/月												備考
	2023年								2024年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
定時総会		○											1回
運営委員会	○	○	○		○	○	○	○		○	○	○	10回
ミニセミナー			○		○					○	○		4回
見学会&セミナー							○						1回
W会合同研究会						○							1回
58期合格証書授与式						○							1回
JPI会員交流会									○				1回
技術士包装物流会		○			○	○		○		○		○	6回

【2023年度 予算(案)】 (2023年5月1日～2024年4月30日)

単位:円

収入	金額	支出	金額
支部活動費	487,200	活動費	240,000
事業収入	300,000	事業経費	660,000
雑収入	6	事務所経費	70,000
前期繰越金	574,734	次期繰越金	391,940
合計	1,361,940	合計	1,361,940

関 東 支 部

【2022年度事業報告】(2022年5月1日～2023年4月30日)

1. 総会 : 第50回定時総会 2022年 6月15日(木) 個別審議・郵便投票評決 Web説明会併用(申込制)
2. 理事会 : 年間7回をすべてWeb(ZOOM)で行った。
①5月26日(木)、②7月14日(木)、③9月15日(木)、④11月10日(木)、⑤12月8日(木)、⑥2月2日(木)、⑦3月2日(木)
3. 会員動静 2023年4月30日現在の登録会員数は236名、22年度より5名減
4. 50周年事業企画プロジェクト／記念セミナーの実施
 - 1) 第3回セミナー : 2022年6月15日 水曜日 14:30～16:00
「段ボール包装設計者から見た『50/113』の軌跡」 講師:レンゴー(株) 開発本部 石川淳生さん
 - 2) 第4回セミナー : 2022年8月26日 金曜日 14:30～16:00
「UXデザインから探る、包装のこれから」 講師:大日本印刷(株) Lifeデザイン事業部 館野由紀子さん
 - 3) 第5回セミナー : 2022年10月7日 金曜日 14:00～15:30
「イオンの環境の取り組みと循環型プラットフォームLoop」 講師:イオンリテール(株) MD改革本部 横田大輔さん
 - 4) 第6回セミナー : 2022年11月22日 火曜日 14:00～15:30
「ヤマトグループの脱炭素にむけた取り組み」 講師:ヤマト運輸(株) 執行役員 秋山佳子さん
 - 5) 第7回セミナー : 2023年4月21日 金曜日 14:00～15:30
「日本のプラスチックの資源循環利用の現状／プラスチック資源循環促進法施行後1年が経過して」
講師:一般社団法人 プラスチック資源利用協会 富田斉さん
5. 交 流 : 集会の開催を自粛したため、他の手段による会員間の交流を模索したが実現できなかった。
6. 包装管理士講座第57期生のIPP入会促進／合格書授与式の集會中止により資料配布による勧誘。
7. 包装研究会／新型コロナウイルス感染対応のため開催できず。
8. 見学会・情報交換会／コロナ禍で長い間中断していた関東支部見学会を4年ぶりに実施。参加者は8名
日時:2023年4月13日(木曜日)13時30分、品川、ヤマト歴史館集合
場所:ヤマト歴史館、伊東屋本社11階FARM、セイコーミュージアム
9. スキルアップセミナー／アドラー心理学の勇気づけのリーダーシップ(3回シリーズ) 岩井俊憲先生
第1回目は10月26日(火)に「勇気と希望のアドラー心理学の概要」、
第2回目は、12月14日(水)に「困難を克服する活力を与える勇気づけを指針に」、
第3回目は、2月8日(水)に「勇気 づけリーダーシップを活かす」と題してお話し頂いた。
10. 海外展示会視察・視察報告会／新型コロナウイルス感染防止対応のため企画困難で計画できず。
11. "Wippl"(女性包装管理士の会)コミュニティー活動支援
 - 1) "Wippl"コミュニティーの現状／現在、wipplのコミュニティーに登録頂いている人数は30名。
 - 2) 活動／2022年10月13日、東京パック開催中にランチ会を関西のW会の方含め9名の参加で実施。
包装管理士会関東支部50周年記念セミナーに参加。
11. 「IPPコミュニ亭」(異業種交流企画とツイッターによるWEB広報活動) 推進強化
 - 1) 関東支部のツイッター「@IppKanto」は2018年12月開始以降、毎日情報発信をしており、
ツイートインプレッション(表示回数)は、2022年5月～2023年4月の期間に59.5万回
*ツイッターアカウントは、「@IppKanto」です。ぜひ一度アクセスして下さい。
12. 写真研究会
 - 1) 2022年10月14日(金)～17日(月)に横浜山手234番館ギャラリーで写真展をリアルで開催。
会員7名のA3サイズの作品28点を展示。好天に恵まれ、4日間計で336人が来場。
 - 2) 2023年4月2日に石神川桜撮影会、4月30日に高円寺びっくり大道芸撮影会を開催。

【2022年度 収支決算報告書】

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
本部交付金	1,349,600	総会・会議費等	198,103
事業収入	0	運営費	145,788
東京パック	200,000	研究会等	58,708
預金利息、雑収入	18	東京パック経費	185,747
		予備費(50周支払等)	700,293
前期繰越金	1,494,531	次期繰越金	1,755,510
合 計	3,044,149	合 計	3,044,149

関 東 支 部

【2023年度 事業計画(案)】(期間:2023年5月1日～2024年4月30日)

- 1) 会員向け事業の充実
 - 包装研究会、スキルアップセミナー、見学会、海外視察の活動を計画的に実施する。
 - 会員の研究会など参加費は原則として無料とする。
 - また、異業種間交流、国際交流、写真研究会等の会員相互による交流と親睦を支援する。
- 2) 会員への情報提供の強化
 1. メールアドレスリストの活用により、電子メールによる開催案内や活動状況の提供、ホームページのアップ記事のアナウンス、閲覧案内の頻度を上げる。
 2. 見学会、研究会の際、情報交換会を利用して会員の希望を確認し、次回開催の参考とする。
- 3) 会員数の増強及び組織強化
 1. 会員とのコミュニケーションを活発にする。
 - ① 見学会等での情報交換会を充実させ、参加者を多くする。
 - ② JPIの「包装技術」に“IPPコミュニティ”の毎号掲載を推進する。
 - ③ “Wippl”(女性管理士の会)コミュニティの活動を支援する。
 - ④ 「IPPコミュニ亭」の活動推進を支援する。
 - ⑤ 関東支部ツイッター「@IppKanto」を活用した広報活動の強化推進。
 2. 新包装管理士のバックアップ:
 - 新規修了管理士でメールアドレスを提供した人には、その年度残余期間は会費免除の仮会員として、会員並みの情報を提供し入会を促す。
- 4) 本部、JPI関東支部、包装4団体との関係強化
 - IPP本部への協力・連携のほか、JPI関東支部との連携を強化。包装4団体との共同事業にも参画。
- 5) 堅実な予算執行に努める
 - 定期的に支部理事会で予算執行状況を管理。Web方式定着の際の経費支出を検討し確定させる。
- 6) 会の活動にWeb方式も活用する。リアル方式、ハイブリット方式も行う。
- 7) 新理事の検討／本人の了解があれば今期の理事としての就任を理事会で審議する。
- 8) リアルでの催し開催／会員相互のコミュニケーションを図る為、行事はリアル(ZOOM併用あり)で行う。
- 9) 合併協議／支部の合併に向けての打ち合わせを行う。(リアル、WEB会議)
- 10) “Wippl”の支援を行う。

【2023年度 事業日程表(案)】

年 / 月		2023年							2024年				備 考	
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		4
総会 理事会	関東支部		23 (金)											
	関東支部	9 (火)		13 (木)		14 (木)		9 (木)	7 (木)		8 (木)	7 (木)		12月は 忘年会予定
海外視察・報告会										○		○		3月は報告会
見学会・地域研究会								○				○		
研究会	包装研究会					○		○			58期		○	
	写真研究会		○ 撮影会			○ 添削		○ 写真展		○ 初平 会		○ 撮影会		撮影会 2回
58期生修了式							○							JPIはWeb実施
スキルアップセミナー							○		○		○			3回
東京パック2022							○							10月12～14 日
包装技術研究大会									○					奈良県
IPPコミュニ亭							○			○				
理事研修会					○									1泊2日予定

【2023年度 収支予算表(案)】

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
本部交付金	1,321,600	総会・会議費等	450,000
事業収入	100,000	運営費	565,000
預金利息	0	研究会等	1,330,000
前期繰越金	1,755,510	基金繰入&予備費	832,110
合計	3,177,110	合計	3,177,110